◇┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳◆

**食科協かわら版　No.373　（2023年度No.1）**　 　2023/1/10

食の行政情報ならびに食中毒情報をお伝えする食科協のメールマガジン

食中毒情報は１回限り　行政情報は原則2回の掲載で削除します

新しいものは*NEW*マークがついております　期限設定のある記事は　期限終了まで掲載

**青字をスクロール　Ctrlキーを押しながらクリック　もしくは右クリックでハイパーリンクを開く**

◇┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻◆

****

**あけましておめでとうございます**

**本年も「食科協」をよろしくお願いいたします**

|  |  |
| --- | --- |
| **目次** | **ページ** |
| 1. [**食科協関係**](#食科協関係) | **2-7** |
| 1. [**厚生労働省関係**](#厚生労働省関係) | **7-15** |
| **3**[**食品安全委員会関係**](#食品安全委員会関係) | **15-16** |
| **4**[**農水省関係**](#農水省関係) | **16-28** |
| **5**[**消費者庁関連**](#消費者庁関連)**リコール情報** | **28-34** |
| **6**[**食中毒・感染症**](#食中毒・感染症)  **細菌性食中毒→ウイルス性食中毒→寄生虫→自然毒→感染症→違反品の回収→他**  **各項目発生順で記載　菌種については月により掲載位置が変動しています** | **34-44** |

**１．****[食科協関係](#食科協関係)**

12月23日　かわら版372号・かわら版ニュース＆トピックス297号を発行

12月23日　ニュースレター233号を発行

12月27日　かわら版ニュース＆トピックス298号を発行

1月06日　　かわら版373号・かわら版ニュース＆トピックス299号を発行

**研修等のご案内**

**HACCP制度化への対応は自主的な衛生検査から！**

**様々なメーカーのATP検査キットやタンパク検出キット、簡易培地、アレルゲン検査キット、**

**携帯形微生物観察器を実習で体験してみませんか？**

**開催日程が決定いたしました‼　受講申込受付中!!**

**第9回 HACCP導入へ向けた迅速検査実習**

主催　　迅速検査研究会

（ATP・迅速検査研究会は2022年11月に「迅速検査研究会」に改称しました）

**当研究会の川崎晋会長による自主衛生管理をテーマとした講義、当会理事によるATPふき取り検査や簡易培地に関する講義の他、実際にATPふき取り検査などの操作や、簡易培地の観察などを体験していただきます。**

**また、皆様の日頃のお悩みにお応えするディスカッションの場も設けます。**

HACCP制度化の動きもあるので、

それに対応して自主検査の充実を図りたい！　**でも……。**

「微生物検査を実施しているが、今後は簡易・迅速に

検査ができる培地の導入も検討している」

「簡易・迅速検査で悩みや再確認したいことがあるけど、

社内で相談できる相手がいない」

「ATPふき取り検査の正しい使い方を知りたい」

「アレルゲン検査を始めたいけど、何から始めれば……？」

**そんなお悩みをお持ちの検査担当者・品質管理担当者様へ、**

**座学と実習をご提供します！　迅速検査を未経験の方も大歓迎！**



**■開 催 日 時：**

**2023年3月1日（水）9時55分～17時20分 予定**

**受付開始　9時30分～**

※新型コロナウイルス感染症の状況によって中止・延期となる可能性がございます。予めご了承ください。

**■会　　　場：一般財団法人東京顕微鏡院・豊海研究所（東京都中央区豊海町5-1）**

**■定　　　員：16名**

※定員に達し次第、締め切らせて頂きます。

※申込多数の場合は、企業・団体の検査担当者の方を優先させて頂く場合があります。

※大学・専門学校の学生の方もお申し込みも可能です。

※感染防止対策としてマスク着用、手指消毒、体温測定などにご協力をお願いします。

**■受　講　費：賛助会員・法人会員8,000円、一般10,000円**

**（テキスト代・白衣・シューズカバー代込み）**

※テキストとして当会15周年記念誌「現場のためのATPふき取り検査マニュアル」を配布します。

※受講者には修了証を発行いたします。

※公定法などの一般的な食品微生物検査の技術を習得する実習ではありません。

**主な内容 （予定）**

|  |
| --- |
| 【講義】HACCPにおける自主検査の位置づけ、簡易・迅速検査の役割など  【講義・実習】手洗い講習  ※実習では、手洗いチェッカーを用いた手洗い効果の確認を体験していただきます。  【講義・実習】ATP ふき取り検査、タンパクふき取り検査、アレルゲン検査、微生物培地の基礎、など  ※実習では、ATP ふき取り検査とタンパク質検出キット、アレルゲン検査キット、携帯形微生物観察器の操作を体験していただきます。  また、簡易・迅速培地で培養した一般生菌、大腸菌・大腸菌群などの観察を体験していただきます。  【質疑応答】事前に受け付けたご質問や、研修会を通じてのご質問などにご回答いたします。 |

**〔検査資材・試薬提供（予定）〕**

|  |  |
| --- | --- |
| **★微生物検査培地** | アヅマックス、栄研化学、エルメックス、キッコーマンバイオケミファ、ネオジェン ジャパン、  日水製薬、ニッタ、フォス・ジャパン |
| **★ATPふき取り検査** | エア・ブラウン、キッコーマンバイオケミファ、ネオジェン ジャパン、ニッタ、フォス・ジャパン |
| **★タンパク／アレルゲン検査** | アヅマックス、エア・ブラウン、ネオジェン ジャパン、日水製薬、ニッタ、フォス・ジャパン |
| **★携帯形微生物観察器** | mil-kin |
| **★手洗いチェッカー** | 東京サラヤ |

参加者からは「色々なキットを体験できてわかりやすかった」「講義も実習も今後の参考になると思う」「これまで現場で使っていたが、疑問点が解消できた」「これから迅速検査を導入するので、社内で情報共有したい」など、迅速検査の初心者から熟練者まで、幅広い層に好評なイベントです

**申込み方法**

**下記の6項目を明記の上、下記へE メールにてお申込みください。**

**1．所属・役職、2．住所、3．氏名（ふりがな）、 4．E - mail、5．電話番号、6．会員or一般**

※当会の賛助会員・法人会員企業と機能水研究振興財団関係者は会員扱いとなります。

Ｅメール： [info@ATP-jinsokukensa.com](mailto:info@ATP-jinsokukensa.com)

**↓ウェブサイトからお申込みいただけます。**

<https://onl.bz/btmdNs6>

**↓QRコードからもお申込みいただけます。**

講義の後、様々な検査キットを体験して頂きます。

沢山の検査キットが一堂に会する、この機会をお見逃しなく！

****

**お問い合わせ**

迅速検査研究会（ATP・迅速検査研究会） 事務局担当：立石（たていし） ＴＥＬ：０９０－２９０７－５４５６

**個人情報保護／**お申し込みの際にご記入いただいた個人情報は、ご本人様の承諾を得ることなく、ATP・迅速検査研究会以外の目的で第三者に提供、開示することはありません。

**利用目的／**お預かりした個人情報は、ご入会・ご継続時の申込管理、ATP・迅速検査研究会のセミナー・勉強会のご紹介、及びこれらに関する各種イベント等のご案内に使用させて頂く場合がございます。

迅速検査研究会 （ATP・迅速検査研究会）

第47回講演会「迅速検査の今日的意義」ご案内

迅速検査研究会　会長　川﨑 晋

迅速検査研究会は2023年2月15日（水）、東京の月島社会教育会館で第47回講演会「迅速検査の今日的意義」を開催します。ふるってご参加ください。(現地参加＆オンライン配信)

（ATP・迅速検査研究会は 2022 年 11 月に「迅速検査研究会」に改称しました）

**プログラム（予定）**　2023年2月15日（水）（開場12：00～、開演13：00～）

|  |  |
| --- | --- |
| 12：00～13：00 | **受付**※受付スタッフにお名刺を 1 枚お渡しください。  会場ロビーにおいて、迅速検査関連の資材の展示を行っております。 |
| 13：00～13：10  （10分） | **【主催者あいさつ】 研究会の名称変更と簡便・迅速検査今後の展望**  迅速検査研究会 会長　**川﨑 晋**　先生  （国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）食品研究部門） |
| 13：10～14：00  （50分） | **【基調講演】 HACCPにおける自主衛生検査と環境検査**  迅速検査研究会 副会長　**森 哲也**　先生  （一般財団法人法人 東京顕微鏡院 食と環境の科学センター 微生物検査部） |
| 14：00～14：30  （30分） | **【講演】 県内食品企業の食品保存性向上を目的とした衛生管理および食品開発支援**  福岡県工業技術センター 生物食品研究所 食品課　**田﨑 麻理奈**　先生 |
| 14：30～14：45 | **【迅速検査研究会 賛助会員プレゼンテーション①】** 日水製薬株式会社 |
| 14：45～15：05 | 休憩・展示　（会場ロビーにてATP・迅速検査の関連資材の展示を行っております） |
| 15：05～15：20 | **【迅速検査研究会 賛助会員プレゼンテーション②】** ネオジェン ジャパン株式会社 |
| 15：20～16：10  （50分） | **【講演】 簡便・迅速検査を活用した医療施設における感染／衛生検査**  ワタキューセイモア株式会社 メデイカル営業本部 学術担当部長　**伏見 了**先生  （東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 客員准教授） |
| 16：10～17：00  （50分） | **【教育講演】食品リスクとの科学的な向き合い方**  **～食の信頼を確保するスマート・リスクコミュニケーション**  特定非営利活動法人食の安全と安心を科学する会（SFSS）理事長　**山崎 毅**先生 |
| 17：00～17：20 | **総合討論**（閉会後も会場ロビーにて関連資材の展示を行っています） |

※開演前、休憩時間、閉会後に簡便・迅速検査に関する展示を行っています。ごゆっくりご覧ください。

**【会場】** 月島社会教育会館 （〒104-0052 東京都中央区月島 4-1-1、月島区民センター）

**【定員】** 会場 100 名 ／ ウェブ（ ＺＯＯＭ ）視聴 100 名

**【受講費】** 賛助会員企業・法人会員企業 1,000 円、一般 3,000円 （※事前登録をお願いします）

**【お申し込み方法】**

以下の7項目を記入し、下記メールアドレスまでお申し込みください。

1．所属・役職、2．住所、3．氏名、4．E-mail、 5．電話番号、 6．会場聴講／ウェブ聴講の別、

7．会員／非会員の別　（当会の賛助会員・法人会員、機能水研究振興財団関係者は会員扱いとなります）

**【申し込み・問い合わせ先】**[info@atp-jinsokukensa.com](mailto:info@atp-jinsokukensa.com)

**【Google Formからもお申し込み頂けます】**<https://onl.bz/xyRMA6K>

**QRコードからもお申込みいただけます**

**【会場での感染対策について】**

会場内では新型コロナウイルス（COVID-19）感染予防にご協力をお願いします。

・受付時の検温ならびに手指消毒にご協力ください。

・検温の結果、37.5℃以上の場合は、参加をご遠慮いただく場合があります。

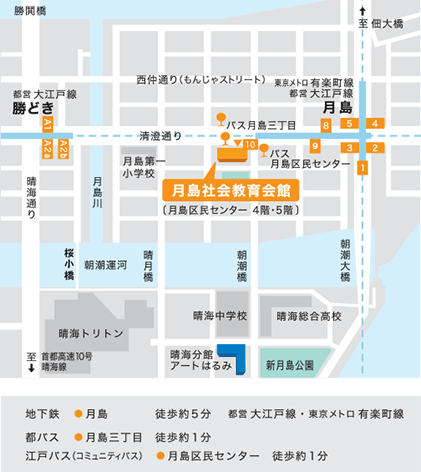
・感染症の流行の状況によってオンライン配信のみになる場合があります。

**【会場アクセス】**

・地下鉄 月島駅 10 番出口（都営大江戸線、東京メトロ有楽町線）

・都バス 月島三丁目

・江戸バス（コミュニティバス） 月島区民センター



**『食品加工機械に関連する「食品の不具合」と改善提言』**

【開催日時】2023年2月18日（土）13：30～16：20

【主　旨】

食品加工機械や構成部品の破損による異物混入、包装不良による食品汚染など、食品加工機械に起因した 「食品の不具合」は食品リコールの対象となり、食品メーカーはリコールにより、莫大な経済的損失を被 る可能性があります。

また、2020 年の食品衛生法の改正にともない、我が国の食品産業界において HACCP システムが制度化されました。

同システムを構築するためには、全フードチェーンに渡る「前提条件プログラム(PRP)」の適用が不可欠であり、食品製造者の PRP には食品加工機械の衛生設計も含まれます。

そのため、食品加工機械に関連する「食品の不具合」に関する関心は高まっていますが、「食品の不具合」の原因、および改善するための施策はあまり知られていません。

今年の市民フォーラムは、食品加工機械に関連する食品の不具合について、具体的なケースを交えて紹介するとともに、それら不具合を改善するための施策について紹介いたします。

**プログラム：**

13：30～13：40 ご連絡 / 開会挨拶

13：40～14：20 講演

『食品加工機械に関連する衛生面の不具合について』

（大阪公立大学 食品安全科学研究センター 日佐 先生）

14：20～14：25 質疑応答

14：25～14：35 休憩

14：35～15：15 講演

『食品加工機械由来の異物混入をテーマにした不具合事例と改善提案』

（元 キューピー㈱ 野呂様）

15：15～15：20 質疑応答

15：20～15：30 休憩

15：30～16：10 講演

『食品のプラスチック製容器包装の不良による自主回収の原因と対策を考える』

（元 生活協同組合連合会ユーコープ事業連合 藤平様）

16：10～16：15 質疑応答

16：15～16：20 閉会挨拶

［備考：終了時間は多少前後する可能性があります。］

会場 オンライン開催

参加費　無料（定員：90名）申込締切 2023年2月11日（土）

【申込方法】

以下のURLから2023年2月11日（土）までにお申込み下さい。

URL：<https://jsme22-143.peatix.com>

本セミナー参加のためのURLはお申込み頂いたメールアドレスへ開催日3日前までに通知いたします。

【お申込の際の注意事項】

はじめてPeatixを利用される方はお申込み前にPeatixアカウントを取得（新規登録）していただく必要がございます。 （Peatixアプリのダウンロードは必須ではありません．）

本ページにある「チケットを申し込む」をクリックし、必要事項をご入力の上、申込みのお手続きをお願いします。

お一人ずつ個人単位でのお申込みをお願いします。

お申込内容は、PeatixアカウントもしくはPeatixより配信されるお申し込み詳細メールからご確認いただけます。

メールが届かない場合は、「peatix.com」からのメールを許可するように受信設定をお願いします。

コメント欄およびメッセージ機能でのご連絡には返信できかねますので、下記の問い合わせ先に直接ご連絡ください。

参加者による、セミナーの静止画/動画撮影，録音は禁止です。

「レコーディング」ボタンで録音することは法律で禁止されています。

当日の発表の音声、スライドの著作権は発表者に帰属します。

◎当日ご参加に必要なもの

視聴用のパソコン＊必須

スピーカーとマイク（質問をする際に必要となります）

有線または無線ブロードバンドのインターネット接続＊必須

※必ず前日までに機材の事前準備と動作確認をした上でご参加下さい。

Zoomで参加の際には、参加者氏名、会社名（勤務先名、学校名）を表示いただきます。

【問合せ先】

〒162-0814　東京都新宿区新小川町4番1号 KDX飯田橋スクエア2階

日本機械学会（担当職員　中嶋 勇輝）

電話03-4335-7614

E-mail: [y.nakajima@jsme.or.jp](mailto:y.nakajima@jsme.or.jp)

**２.****[厚生労働省関係](#厚生労働省関係)**　<https://www.mhlw.go.jp/index.html>

**★***Link***傍聴・参加が可能な審議会等の会議一覧　ご案内しきれないときもございます**<https://www.mhlw.go.jp/topics/event/open_doors.html>

**★***Link***インフルエンザ（総合ページ）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html>

**★***Link***インフルエンザの発生状況**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou01/houdou.html>

**★***Link***インフルエンザに関する報道発表資料 2022/2023シーズン**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou01/houdou_00010.html>

**★***Link***インフルエンザ流行状況レベルマップ**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/tokuteisessyu_iryou_00003.html>

**★***Link***副反応疑い報告の状況について（とても詳しい資料です）**

**厚生科学審議会 (予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会)**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html>

**★***Link***2022年3月31日　国立国際医療研究センター　COVIREGI-JPダッシュボード**

COVID-19 レジストリ研究　“ダッシュボード” 本データの注意点  
<https://www.ncgm.go.jp/pressrelease/2021/20220331.html>  
ダッシュボード  
<https://app.powerbi.com/view?r=eyJrIjoiNGJlMmZmNDctMDk0NC00MjkwLTk0NDgtYmM1MGFkYjNhN2RiIiwidCI6IjZmOGFmOWFkLTU2NDctNGQ2My1hYjIxLWRiODk0NTM3MzJmNyJ9>  
NCGM COVID-19 治療フローチャート（中等症以上成人) <https://www.ncgm.go.jp/covid19/pdf/20220322NCGM_COVID-19_Flow_chart_v5.pdf>

**■***NEW***化学物質による労働災害防止のための新たな規制について**

**～労働安全衛生規則等の一部を改正する省令（令和４年厚生労働省令第91号（令和４年５月31日公布））等の内容～　2022/12/27**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000099121_00005.html>

新たな規制の概要

　厚生労働省は、化学物質による労働災害を防止するため、労働安全衛生規則等の一部を改正しました。

　化学物質による休業４日以上の労働災害（がん等の遅発性疾病を除く。）の原因となった化学物質の多くは、化学物質関係の特別規則※の規制の対象外となっています。本改正は、これら規制の対象外であった有害な化学物質を主な対象として、国によるばく露の上限となる基準の策定、危険性・有害性情報の伝達の整備拡充等を前提として、事業者が、リスクアセスメントの結果に基づき、ばく露防止のための措置を適切に実施する制度を導入するものです。

　※ 特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則、鉛中毒予防規則、四アルキル鉛中毒予防規則

ダイアグラム が含まれている画像

自動的に生成された説明

本改正の主なポイント

１．労働安全衛生規則関係

（１）リスクアセスメントが義務付けられている化学物質（以下「リスクアセスメント対象物」という。）の製造、取扱い又は譲渡提供を行う事業場ごとに、化学物質管理者を選任し、化学物質の管理に係る技術的事項を担当させる等の事業場における化学物質に関する管理体制の強化

（２）化学物質のＳＤＳ（安全データシート）等による情報伝達について、通知事項である「人体に及ぼす作用」の内容の定期的な確認・見直しや、通知事項の拡充等による化学物質の危険性・有害性に関する情報の伝達の強化

（３）事業者が自ら選択して講ずるばく露措置により、労働者がリスクアセスメント対象物にばく露される程度を最小限度にすること（加えて、一部物質については厚生労働大臣が定める濃度基準以下とすること）や、皮膚又は眼に障害を与える化学物質を取り扱う際に労働者に適切な保護具を使用させること等の化学物質の自律的な管理体制の整備

（４）衛生委員会において化学物質の自律的な管理の実施状況の調査審議を行うことを義務付ける等の化学物質の管理状況に関する労使等のモニタリングの強化

（５）雇入れ時等の教育について、特定の業種で一部免除が認められていた教育項目について、全業種での実施を義務とする（教育の対象業種の拡大／教育の拡充）を全業種に拡大

２．有機溶剤中毒予防規則、鉛中毒予防規則、四アルキル鉛中毒予防規則、特定化学物質障害予防規則、粉じん障害防止規則関係

（１）化学物質管理の水準が一定以上の事業場に対する個別規制の適用除外

（２）作業環境測定結果が第三管理区分の事業場に対する作業環境の改善措置の強化

（３）作業環境管理やばく露防止対策等が適切に実施されている場合における有機溶剤、鉛、四アルキル鉛、特定化学物質（特別管理物質等を除く。）に関する特殊健康診断の実施頻度の緩和

３．施行日　公布日（一部令和５年４月１日又は令和６年４月1日施行）

本改正の概要

PDF 労働安全衛生法の新たな化学物質規制 [PDF：1,926KB]

<https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/000987253.pdf>

以下省略

**■***NEW***食品に関するリスクコミュニケーション「輸入食品の安全性確保に関する意見交換会」を開催します　2022/12/23**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/1111212865_00033.html>

　～１月31日に東京、２月３日に大阪で開催。参加者募集を開始～

　厚生労働省は、食品に関するリスクコミュニケーション「輸入食品の安全性確保に関する意見交換会」を、１月31日（火）に東京で、２月３日（金）に大阪で開催します（事前申込制、参加無料）。このたび、本意見交換会への参加者を募集します。

　今回の意見交換会では、輸入食品の安全性確保に関する取り組みとして、令和５年度の輸入食品監視指導計画（案）や輸入食品監視指導計画に基づく輸入時対応などについて、行政が情報提供を行うとともに、輸入食品の安全性確保に関する自身の取り組みについて食品関係事業者が講演を行います。その後、消費者、事業者、行政と参加者との間で輸入食品の安全性確保の取り組みについて意見交換をします。

　本会の概要や申し込み方法については、次項をご参照ください。

＜参考＞

　　厚生労働省では、輸入食品の安全性を確保するため、毎年度「輸入食品監視指導計画」を定め、輸出国での衛生対策の推進や輸入時の検査などの監視指導に取り組んでいます。また、消費者、事業者、行政の３者が集まり、輸入食品の安全性確保に関する情報・意見交換を通じて、相互理解を目指すための活動を毎年行っています（食品に関するリスクコミュニケーション）。

**■輸入食品監視業務**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/yunyu_kanshi/index.html>

　別紙１　開催案内チラシ（東京会場）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11131500/001028518.pdf>

別紙２　開催案内チラシ（大阪会場）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11131500/001028519.pdf>

　１　開催概要

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション

自動的に生成された説明

<http://www.civi-c.co.jp/access_t.html#nihonbashi>

<http://www.civi-c.co.jp/access.html#kita>

　２　主催　厚生労働省

３　募集人数

　東京会場　170人（先着順）

　　大阪会場　100人（先着順）

　４　プログラム内容（各会場共通）

（１）情報提供・講演

１．「輸入食品の安全性確保について（令和５年度輸入食品監視指導計画（案））」

＜東京会場＞

厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品監視安全課 輸入食品安全対策室　室長 森田 剛史

＜大阪会場＞

厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品監視安全課 輸入食品安全対策室　室長補佐 松井 保喜

２．「輸入食品の安全性確保について（輸入食品監視指導計画に基づく輸入時対応）」

厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品監視安全課 輸入食品安全対策室

輸出国査察専門官 白坂 信和

３．「輸入食品の安全・安心にかかる事業者の取り組みについて」

株式会社ニッスイ 品質保証部　部長 中井 清典 氏

（２）意見交換

ファシリテーター

公益社団法人　日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会

専門委員　　蒲生　恵美　氏

登壇者　上記情報提供・講演者の３人

５　参加申込要領

（１）申し込み方法

　参加をご希望される方は、インターネット、電子メール、FAXのいずれかの方法でお申し込みください。幅広い参加者を募る観点から、同一団体からの複数名の参加はご遠慮いただく場合があります。

グラフィカル ユーザー インターフェイス

自動的に生成された説明

<https://onl.bz/MgGtZn1>

<https://onl.bz/e8X5hM4>

[forum@intergroup.co.jp](mailto:forum@intergroup.co.jp)

　　・電話でのお申し込みは受け付けておりません。

・規定人数に達した場合、申し込み締切日より前に募集を締め切ることがありますので、あらかじめご了承ください。

・お申し込みによって得た個人情報は厳重に管理し、参加確認に関する問い合わせなど、ご本人への連絡を行う場合に限り利用します。

（２）留意事項

　１．参加の可否：

・開催日前日までにお申し込みいただいた方法（電子メールまたはFAX）でご連絡します（FAXで申し込む場合、必ず返信用のFAX番号をご記入ください）。

・参加可能な方にのみ「参加証」をお送りします。「参加証」は、当日ご持参いただくか、携帯電話などの端末に画面表示させる形でご用意ください。

　２．公開の原則：

・本会は公開ですので、発言者、参加者の写真や映像が報道・配信される可能性があることをあらかじめご了承ください。

・意見交換会の内容（配付資料、議事録など）は、終了後に厚生労働省のウェブページで公表する予定です。なお、希望されない方にあっては個人が特定できないように配慮します。

　３．留意事項：

・意見交換会への参加にあたっては、次の留意事項を遵守してください。これらを守っていただけない場合は、参加をお断りする場合があります。

・携帯電話などの電源はお切りいただくか、マナーモードに設定ください。

・意見交換会の開催中は、静粛を旨とし、以下の行為を慎んでください。

(ア) 発言者の発言に対する賛否の表明または拍手

(イ) 意見交換時における長時間の発言

(ウ) 開催中の入退室（ただし、やむを得ない場合を除く）

(エ) 会場でのカメラ、ビデオ、ICレコーダーなどを使った録音や録音機器の使用（報道関係者を除く）

(オ) 飲食（お茶などを除く）、喫煙

・銃砲刀剣類その他危険なものを会場に持ち込まないでください。

・会場参加における新型コロナウイルス感染症対策について

(ア) 来場の際はマスクを着用してください

(イ) 当日体調不良や、発熱等の風邪症状がある場合は、参加を控えてください

(ウ) 着席位置等は職員の指示に従ってください

・その他、事務局職員の指示に従ってください。

６　報道関係者の皆さまへ

　今回の意見交換会は公開ですが、写真や動画撮影は冒頭のみとさせていただきます。取材を希望される方には、別途席をご用意しますので、申込締切日までに、「５ 参加申込要領」に従い、お申し込みください。お申込みの際、報道関係者である旨を必ず明記してください。

　また、開催日当日は受付で名刺をお渡しください。

申込に関する問い合わせ先

「食品に関するリスクコミュニケーション」運営事務局（委託先）　担当：寺山、篠原

　E-mail：[forum@intergroup.co.jp](mailto:forum@intergroup.co.jp)

**■***NEW***フィンランド産牛肉等の輸入手続を再開します　2022/12/23**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_29695.html>

　　フィンランド産牛肉等について、フィンランド政府との協議等が完了したので、本日付けで、輸入手続を再開することとしました。

１．経緯

　ＢＳＥ発生国であるフィンランドの牛肉、牛臓器及びこれらを原材料とする牛肉加工品については、平成13年２月から輸入手続を停止していましたが、令和２年５月に食品安全委員会に輸入再開のための輸入条件について諮問し、令和２年12月に同委員会より食品健康影響評価結果が通知されました。

　　厚生労働省では、この評価結果を踏まえ、フィンランド政府との対日輸出条件に係る協議や現地の状況調査等を進めてきましたが、これらの手続きが完了したため、今般、フィンランド産牛肉、牛臓器及びこれらを原材料とする牛肉加工品の輸入手続を再開することとしました。

２．対日輸出条件

〇 対日輸出が認められない部位の範囲は、全月齢の扁桃及び回腸（盲腸との接続部分から２メートルの部分に限る。）並びに30か月齢超の頭部（舌、頬肉、皮及び扁桃を除く。）、脊髄及び脊柱とする。

注）上記の条件については、アイルランド、カナダ、米国、フランス及びデンマークと同様のものです。

**■輸入食品に対する検査命令の実施　（中国産くわい、その加工品）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_29846.html>

　　本日、以下のとおり輸入者に対して、食品衛生法第26条第３項に基づく検査命令（輸入届出ごとの全ロットに対する検査の義務づけ）を実施することとしたので、お知らせします。

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション

自動的に生成された説明

　　パクロブトラゾールについて

１．農薬（植物成長調整剤）

２．許容一日摂取量（人が一生涯毎日摂取し続けても、健康への影響がないとされる一日当たりの摂取量）は、体重１kg当たり0.02 mg/日であり、急性参照用量（人が24時間または、それより短い時間の間の経口摂取により、健康に影響がないとする摂取量）は体重１kg当たり0.3 mgです。

３．現実的ではありませんが、体重 60 kg の人が、パクロブトラゾールが0.03 ppm残留したくわいを毎日 40 kg摂取し続けたとしても、一生涯の平均的な摂取量が許容一日摂取量を超えることはなく、また、１日に600 kg摂取したとしても、急性参照用量を超えることはなく、健康に及ぼす影響はありません。

違反の内容

１．品名：生鮮くわい

輸入者：株式会社パシフィックコーポレーション

輸出者：NINGBO HAITIAN HOLDING GROUP CO.,LTD.

届出数量及び重量：1,300 CT、6,500.00 kg

検査結果：パクロブトラゾール 0.02 ppm 検出(基準：0.01 ppm)

届出先：大阪検疫所

日本への到着年月日：令和４年11月29日

違反確定日：令和４年12月13日

措置状況：一部販売済、残余保管

２．品名：生鮮くわい

輸入者：日本中僑株式会社

輸出者：YANGZHOU JIAHE TRADING CO.,LTD.

届出数量及び重量：56 CT、280.00 kg

検査結果：パクロブトラゾール 0.03 ppm 検出(基準：0.01 ppm)

届出先：福岡検疫所

日本への到着年月日：令和４年12月２日

違反確定日：令和４年12月15日

措置状況：全量保管中

参考 : 中国産くわいの輸入実績（令和３年４月１日から令和４年12月14日まで：速報値）

テーブル

自動的に生成された説明

**■食品中の放射性物質の検査結果について（１３２1報）　2022/12/20**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_29907.html>

**■食品中の放射性物質の検査結果について（１３２０報）　2022/12/20**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_29735.html>

**■***NEW***食品安全情報（微生物）No.26/ 2022（2022.12.21）　2022/12/21**

[http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202226m.pdf](http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202226m.pdf%20)

**目次**

**【米国疾病予防管理センター（US CDC）】**

1. テキサス州産の生牡蠣に関連して複数州にわたり発生しているノロウイルス感染アウトブレイク（2022 年 12 月 15 日付初発情報）

**【欧州疾病予防管理センター（ECDC）／欧州食品安全機関（EFSA）】**

1. ECDC-EFSA 合同迅速アウトブレイク評価：欧州連合／欧州経済領域（EU/EEA）加盟数カ国、イスラエルおよび英国で発生中の鶏肉の喫食と関連している可能性があるサルモネラ（Salmonella Mbandaka シークエンスタイプ（ST）413）感染アウトブレイク

**【欧州疾病予防管理センター（ECDC）】**

1. 鶏肉に関連して複数国にわたり発生しているサルモネラ（Salmonella Mbandaka シークエンスタイプ（ST）413）感染アウトブレイク

**【欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）】**

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food and Feed）

**【Eurosurveillance】**

1. 飲用水に関連してイタリア北東部で発生したクリプトスポリジウム症アウトブレイク（2019 年 8 月）：微生物学的調査および環境調査

**【英国食品基準庁（UK FSA）】**

1. クリスマス時の供給量を確保するために一部の家禽肉製品が冷凍後に解凍されて冷蔵品として販売されることについて消費者向け助言を発表

**【アイルランド食品安全局（FSAI）】**

1. 解凍した家禽肉の販売は許可されていないことを、製造業者、輸入業者および小売業者に注意喚起

**【ドイツ連邦リスクアセスメント研究所（BfR）】**

1. 安全が最優先：消費者保護に取り組んだ 20 年間を振り返る国際シンポジウムを開催

**【ProMED-mail】**

1. コレラ、下痢、赤痢最新情報（34）

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.26/ 2022（2022.12.21）　2022/12/21**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202226c.pdf>

**＜注目記事＞**

**【FDA】スローガンではなく科学としての食品安全文化の推進：系統的な文献レビュー**

米国食品医薬品局（FDA）は、業界、消費者及び FDA 内での食品安全文化（Food Safety Culture）に関する FDA の取り組みの基盤として、食品安全文化に関する科学文献の系統的レビューを実施した。食品安全文化の推進は、FDA の将来計画「よりスマートな食品安全の新時代」の重要な柱である。

**＊ポイント：** コーデックス委員会の食品衛生の一般原則の改訂版に「食品安全文化」が明記されたこともあり、諸外国では政策への食品安全文化の導入が進められています。食品安全文化とは、簡単に説明すると、食品の安全性を確保するために、食品事業者が、組織全体で食品安全のことを考えて認識を深め、価値観を共有し、行動を改善できるような社風をつくることが必要であるという考え方です。FDA が公表した報告書には食品安全文化をどのように推進すると良いのかが例も含めて具体的に記載されているので、良い参考になると思います。

**【FSANZ】 ベビーホウレンソウ製品の全国的リコール**

オーストラリア・ニュージーランド食品基準局（FSANZ）は、安全でない植物素材の混入のためベビーホウレンソウ製品の全国的リコールを発表した。2022 年 12 月 18 日時点で、ニューサウスウェールズ州、オーストラリア首都特別地域、ビクトリア州、クイーンズランド州から 190 名を超える症例が報告されている。問題の製品は、Riviera Farms の1 つの畑から収穫されたものである。混入原因と原因植物は現在調査中。

**＊ポイント：** メディアでも大々的に取り上げられています。メディアニュースによると症状からトロパンアルカロイドを含むナス科の有毒植物が疑われているようですが、オーストラリア当局からの公式発表はなく、原因は調査中とされています。リコールは、生鮮ベビーホウレンソウのパックのみならず、ベビーホウレンソウが使用されたそのまま喫食可能なさまざまなサラダも対象となっており、かなり大規模なものとなっているようです。

**【ご挨拶】**

2022 年の最終号となります。今年もさまざまなニュースがありました。EU における食品添加物としての二酸化チタンの禁止、米国環境保護庁（EPA）によるクロルピリホスの食品中トレランスの失効、米国 FDA による食品への新規技術（ゲノム編集、培養細胞）の利用推進、EU や米国における食品接触物質へのフタル酸エステル類の使用の再評価・制限、オーストラリア・ニュージーランドでのポピーシード製品の大規模リコール、各国によるカンナビジオール（CBD）への取組、パーフルオロアルキル化合物の使用制限に向けたさらなる取組、そしてロシアのウクライナ侵攻による食品安全保障の問題に関する記事が目立ちました。

来年も引き続き食品安全の海外情報をご紹介していきますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。皆さま、よいお年をお迎え下さい

**3.****[食品安全委員会関係](#食品安全委員会関係)**　<https://www.fsc.go.jp/>

**■***NEW***食品安全委員会（第884回）の開催について　2023/1/5**

**最近、発表が遅く、締め切りが早くなっております。参加をご希望の場合は、各自ご確認ください今年最後の会合はお休みのようです**

標記会合を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本会合については、傍聴者を入れずに開催いたしますが、本会合の様子については、下記４のとおり、web上で動画配信することといたしました。

議事録につきましては、後日、食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>） に掲載いたします。大変御迷惑をお掛けいたしますが、ご理解のほど、何卒よろしくお願いいたします。

記

１．開催日時：令和5年1月10日（火）　１４：００〜

２．開催場所：食品安全委員会 大会議室　（港区赤坂５−２−２０ 赤坂パークビル２２階)

３． 議事

（１）委員長選出

（２）その他

４．動画視聴について

：本会合の様子の動画視聴を希望される方は、1月9日（月）12時までに内閣府共通意見等登録システム（<https://form.cao.go.jp/shokuhin/opinion-1176.html>にて、氏名所属、電話番号及びメールアドレスを御登録いただきますようお願いいたします。視聴をお申し込みいただいた方には、御登録いただいたメールアドレス宛てに、視聴に必要なURLを、1月10日（日）12時までに御連絡いたします。なお、当日の資料につきましては、同日14時までに食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>）に掲載いたします。

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/annai804.html>

<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/> 　**←発表がない場合はこちらからご確認ください**

**会議の結果は下記から確認できます**

**★***Link***食品安全委員会　開催実績リンク　開催日時、配付資料、議事録等**

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>

<https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_hisiryou_muramidase_030512.html>

**■***NEW***食品安全関係情報更新（令和4年11月5日から令和4年12月9日）2022/12/22**

[https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from\_year=2022&from\_month=11&from\_day=5&to=struct&to\_year=2022&to\_month=12&to\_day=9&max=100](https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from_year=2022&from_month=11&from_day=5&to=struct&to_year=2022&to_month=12&to_day=9&max=100%20)

**４．****[農水省関係](C:\\Users\\chichi2\\AppData\\Roaming\\Microsoft\\Word\\農水省関係)**<https://www.maff.go.jp/>

**★***Link***ウクライナ情勢に関する農林水産業・食品関連産業事業者向け相談窓口**

<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/sodan.html>

**■***NEW***香港及びシンガポール向け家きん由来製品の輸出再開について（北海道及び兵庫県）　2023/1/5**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230105_9.html>

　　本日より、北海道及び兵庫県からの香港及びシンガポール向けの家きん由来製品の輸出が再開されましたのでお知らせします。

概要

令和4年10月28日に高病原性鳥インフルエンザの今シーズン国内一例目が発生して以降、輸出相手国・地域との間で地域主義の適用について協議を行い、主な輸出先である香港やシンガポール当局からは、非発生県からの家きん由来製品の輸出継続が認められています。

これまで、発生県からの輸出再開について協議を行ってきたところ、今般、香港当局及びシンガポール当局との間で、高病原性鳥インフルエンザに関する清浄性が認められた北海道及び兵庫県からの家きん由来製品の輸出再開について合意しました。

これにより、本日から、動物検疫所においてシンガポール向けの輸出に必要な輸出検疫証明書の交付を再開しました。

引き続き、他の輸出先国・地域との協議を行ってまいります。

＜2022年1-11月の輸出額＞

香港向け鶏肉：17億円（鶏肉の総輸出額19億円）

香港向け鶏卵：74億円（鶏卵の総輸出額80億円）

シンガポール向け鶏肉：0.007億円（鶏肉の総輸出額19億円）

シンガポール向け鶏卵：1億円（鶏卵の総輸出額80億円）

出典：財務省「貿易統計」

＜これまでの経過＞

令和4年10月28日：北海道において高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認

（北海道からの家きん由来製品の輸出が一時停止）

令和4年11月13日：兵庫県において高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認

（兵庫県からの家きん由来製品の輸出が一時停止）

　参考

香港向けの家きん由来製品停止状況については、以下のページよりご確認いただけます。

URL：<https://www.maff.go.jp/aqs/hou/pdf/exkakin3-6.pdf>　（PDF：91KB)

シンガポール向けの家きん由来製品の輸出停止の状況については、以下のページよりご確認いただけます。

URL：<https://www.maff.go.jp/aqs/hou/pdf/exkakin_sg_r.pdf>　（PDF：86KB）

**■***NEW***佐賀県武雄市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内26例目）に係る移動制限の解除について　2023/1/4**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230104.html>

　　佐賀県は、同県武雄市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内26例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和4年12月29日（木曜日）午前0時（12月28日（水曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）佐賀県は、令和4年12月6日に同県武雄市の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内26例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）佐賀県は、令和4年12月22日に当該搬出制限を解除しました。

（3）今般、佐賀県は、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和4年12月7日の翌日から起算して21日が経過する令和4年12月29日（木曜日）午前0時（12月28日（水曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***山形県鶴岡市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内29例目）に係る移動制限の解除について　20223/1/4**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230104_2.html>

　山形県は、同県鶴岡市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内29例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和5年1月3日（火曜日）午前0時（1月2日（月曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）山形県は、令和4年12月8日に同県鶴岡市の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内29例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）山形県は、令和4年12月27日に当該搬出制限を解除しました。

（3）今般、山形県は、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和4年12月12日の翌日から起算して21日が経過する令和5年1月3日（火曜日）午前0時（1月2日（月曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***福島県飯舘村で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内28例目）に係る移動制限の解除について　2023/1/4**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230104_3.html>

　　福島県は、同県飯舘村で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内28例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和5年1月2日（月曜日）午前0時（1月1日（日曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）福島県は、令和4年12月7日に同県飯舘村の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内28例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）福島県は、令和4年12月22日に当該搬出制限を解除しました。

（3）今般、福島県は、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和4年12月11日の翌日から起算して21日が経過する令和5年1月2日（月曜日）午前0時（1月1日（日曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***福岡県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2023/1/3**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230103_4.html>

　　本日（1月3日（火曜日））、福岡県古賀市の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内54例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定しました。

1.農場の概要

所在地：福岡県古賀市

飼養状況：約400羽（だちょう（エミュー））

2.経緯

（1）昨日（1月2日（月曜日））、福岡県は、同県古賀市の農場から、死亡羽数の増加がみられる旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（3）本日（1月3日（火曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■***NEW***千葉県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2023/1/3**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230103.html>

　本日（1月3日（火曜日））、千葉県旭市の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内53例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定しました。

1.農場の概要

所在地：千葉県旭市

飼養状況：約1万羽（採卵鶏）

2.経緯

（1）昨日（1月2日（月曜日））、千葉県は、同県旭市の農場から、死亡羽数の増加がみられる旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（3）本日（1月3日（火曜日））、当該家きんについて遺伝子検査**を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。**

**■***NEW***群馬県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2023/1/1**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230101.html>

　　本日（1月1日（日曜日））、群馬県前橋市の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内52例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定しました。

1.農場の概要

所在地：群馬県前橋市

飼養状況：約1.5万羽（採卵鶏）

2.経緯

（1）昨日（12月31日（土曜日））、群馬県は、同県前橋市の農場から、死亡羽数が増加している旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（3）本日（1月1日（日曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■***NEW***広島県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2022/12/30**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/221230_7.html>

　　本日（12月30日（金曜日））、広島県世羅町の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内51例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定しました。

1.農場の概要

所在地：広島県世羅町

飼養状況：約29万羽（採卵鶏）

2.経緯

（1）昨日（12月29日（木曜日））、広島県は、同県世羅町の農場から、死亡羽数が増加している旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（3）本日（12月30日（金曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■***NEW***埼玉県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2022/12/30**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/221230.html>

　　本日（12月30日（金曜日））、埼玉県狭山市の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内50例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定しました。

1.農場の概要

所在地：埼玉県狭山市

飼養状況：約13万羽（採卵鶏）

2.経緯

（1）昨日（12月29日（木曜日））、埼玉県は、埼玉県狭山市の農場から、死亡羽数の増加がみられる旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（3）本日（12月30日（金曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■***NEW***福岡県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内48例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2022/12/28**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/221228.html>

　　福岡県糸島市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内48例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）福岡県糸島市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内48例目、12月26日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***鳥取県鳥取市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内22例目）に係る移動制限の解除について　2022/12/27**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/221227_4.html>

　　鳥取県は、同県鳥取市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内22例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和4年12月27日（火曜日）午前0時（12月26日（月曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）鳥取県は、令和4年12月1日に同県鳥取市の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内22例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）鳥取県は、令和4年12月16日に当該搬出制限を解除しました。

（3）今般、鳥取県は、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和4年12月5日の翌日から起算して21日が経過する令和4年12月27日（火曜日）午前0時（12月26日（月曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***広島県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2022/12/27**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/221227.html>

　　本日（12月27日（火曜日））、広島県世羅町の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内49例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定しました。

1.農場の概要

所在地：広島県世羅町

飼養状況：約12.7万羽（採卵鶏）

2.経緯

（1）昨日（12月26日（月曜日））、広島県は、同県世羅町の農場から、家きんの異状がみられる旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（3）本日（12月27日（火曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■***NEW***宮崎県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内44例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2022/12/26**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/221226_3.html>

　　宮崎県日向市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内44例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）宮崎県日向市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内44例目、12月21日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***岡山県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内43例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2022/12/26**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/221226_2.html>

　　岡山県美咲町で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内43例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）岡山県美咲町の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内43例目、12月20日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***茨城県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内47例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2022/12/26**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/221226_6.html>

　　茨城県笠間市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内47例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）茨城県笠間市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内47例目、12月22日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***長崎県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内46例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2022/12/26**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/221226_5.html>

　　長崎県佐世保市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内46例目）について動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）長崎県佐世保市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内46例目、12月22日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***鹿児島県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内45例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2022/12/26**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/221226_4.html>

　　鹿児島県阿久根市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内45例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）鹿児島県阿久根市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内45例目、12月21日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***和歌山県和歌山市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内21例目）に係る移動制限の解除について　2022/12/26**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/221226_1.html>

　　和歌山県は、同県和歌山市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内21例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和4年12月26日（月曜日）午前0時（12月25日（日曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）和歌山県は、令和4年11月30日に同県和歌山市の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内21例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）和歌山県は、令和4年12月15日に当該搬出制限を解除しました。

（3）今般、和歌山県は、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和4年12月4日の翌日から起算して21日が経過する令和4年12月26日（月曜日）午前0時（12月25日（日曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***2022年農業技術10大ニュースの選定について　2022/12/26**

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/221226.html>

　「2022年農業技術10大ニュース」を選定しました。

1.「農業技術10大ニュース」の選定について

この1年間に新聞記事となった民間企業、大学、公立試験研究機関及び国立研究開発法人の農林水産研究成果のうち、内容に優れるとともに社会的関心が高いと考えられる成果10課題を農業技術クラブ（農業関係専門紙・誌など30社加盟）の加盟会員による投票を得て選定しました

2.選定結果について

選定した「2022年農業技術10大ニュース」は、次のとおりです。

**TOPIC1**

**メタンの産生が少ない牛に特徴的な新種の細菌を発見　－げっぷ由来メタンの排出削減に期待－**

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（以下「農研機構」という。）は、メタン産生量の少ない乳用牛の第一胃から、牛の栄養となるプロピオン酸を多く産生し、メタン産生の抑制につながる新種の細菌の分離に成功しました。今後、本菌を生菌剤として活用することで、牛のげっぷ由来メタンの排出削減と飼料利用性の改善に貢献すると期待されます。

**TOPIC2**

**植物性プラスチックのリサイクルで肥料を製造　－再利用工程で発生する尿素を肥料として有効活用－**

東京工業大学、東京大学、京都大学は、植物性プラスチックをアンモニア水で処理することにより、植物由来原料と尿素に分解するリサイクルシステムを開発。プラスチックのリサイクルと同時に、副生する肥料成分を植物に供給する資源循環システムの実現が期待されます。

**TOPIC3**

**豚熱とアフリカ豚熱を迅速・同時に判別！　－検査効率の大幅な向上で防疫に貢献－**

農研機構とタカラバイオ株式会社は、豚熱ウイルスとアフリカ豚熱ウイルスを1回の検査で迅速（2時間以内）に検出・判別可能なリアルタイムPCR法を開発。都道府県が実施する豚熱の迅速な診断・防疫措置や、わが国への侵入が警戒されるアフリカ豚熱の監視強化への貢献が期待されます。

**TOPIC4**

**土壌病害診断AIアプリを開発　－圃場ごとの発生しやすさに応じた対策法を提示－**

農研機構、株式会社システム計画研究所／ISP等の土壌病害AI診断コンソーシアムは、土壌分析や栽培状況等を基に、圃場の土壌病害の発生しやすさを診断し、診断結果に応じた対策法を提示するウェブアプリ「HeSo+(ヘソプラス)」を開発。必要な圃場にのみ土壌消毒剤を使用することにより、消毒剤の使用量が削減され、生産者の収益性向上と環境負荷低減が期待されます。

**TOPIC5**

**新たな道を切り開く「みちしずく」　－基腐病に強く、多収の焼酎・でん粉原料用かんしょ新品種を育成－**

農研機構は、基腐病に強く多収の焼酎・でん粉原料用かんしょの新品種「みちしずく」を育成焼酎原料用品種の「コガネセンガン」に、焼酎にした時の酒質（香りと味）が似ています。現在種芋の供給は限られていますが、南九州のかんしょ産地への普及に向けて種芋を増殖中です。

**TOPIC6**

**振動でトマト害虫を防除　－コナジラミ類の発生抑制・トマトの授粉促進による安定生産へ－**

電気通信大学等の振動農業技術コンソーシアムは、トマトの株に振動を与えて害虫のコナジラミ類を防除する技術を開発。振動には害虫の発生抑制に加えて、トマトの授粉を促進する効果。トマトの化学農薬の低減とともに、安定生産への貢献が期待されます。

**TOPIC7**

**ウンカ発生調査　AIで大幅時短　－目視では1時間以上の調査時間を3～4分に短縮－**

農研機構は、水稲の主要害虫であるイネウンカ類の発生調査にかかる時間を大幅に短縮できる技術を開発。人工知能（AI）を活用し、目視では1時間以上かかることもある害虫の判別・計数作業を3～4分に短縮。害虫の的確な防除や被害発生の予測に貢献することが期待されます。

**TOPIC8**

**超音波を活用したヤガ類の防除技術を確立　－開発した装置で農薬散布回数9割減－**

農研機構、株式会社メムス・コア、京都府農林水産技術センターは、幅広い作物を食害する害虫のヤガ類を超音波で追い払う装置を開発し、防除技術として確立。天敵であるコウモリの出す超音波を聞くと、ヤガ類が逃げ出す性質を利用した技術であり、減農薬栽培の推進に貢献することが期待されます。

**TOPIC9**

**リンゴ黒星病の発生低減に貢献　－リンゴの落葉収集機で効率よく9割除去－**

農研機構、株式会社オーレック、地方独立行政法人青森県産業技術センターは、リンゴ黒星病の発生源となる落葉の収集機を開発。手作業の約30倍の作業能率で落葉を収集し、雪解け後の地面に張り付いた落葉に対し8～9割の除去率を達成。2022年3月に市販開始。

**TOPIC10**

**急傾斜45度対応のリモコン草刈機　－強く、早く、小さい！中山間でも安全作業－**

株式会社IHIアグリテック、農研機構、福島県農業総合センターは、リモコン操作で45度の傾斜地でも作業でき、国産の小型機種として初めてハンマーナイフ式を採用した草刈機を開発。茎が太く1mを超える雑草等にも対応可能で、平地、傾斜地ともに既存の小型草刈機の50%程度に作業時間を短縮。2022年6月に市販開始。

これまでの成果は以下のURLで紹介しています。

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/10topics.htm>

添付資料

2022年農業技術10大ニュース(TOPIC 1)(PDF : 678KB)

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/attach/pdf/221226-7.pdf>

2022年農業技術10大ニュース(TOPIC 2)(PDF : 441KB)

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/attach/pdf/221226-10.pdf>

2022年農業技術10大ニュース(TOPIC 3)(PDF : 483KB)

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/attach/pdf/221226-8.pdf>

2022年農業技術10大ニュース(TOPIC 4)(PDF : 674KB)

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/attach/pdf/221226-3.pdf>

2022年農業技術10大ニュース(TOPIC 5)(PDF : 498KB)

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/attach/pdf/221226-2.pdf>

2022年農業技術10大ニュース(TOPIC 6)(PDF : 781KB)

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/attach/pdf/221226-9.pdf>

2022年農業技術10大ニュース(TOPIC 7)(PDF : 1,050KB)

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/attach/pdf/221226-4.pdf>

2022年農業技術10大ニュース(TOPIC 8)(PDF : 1,222KB)

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/attach/pdf/221226-1.pdf>

2022年農業技術10大ニュース(TOPIC 9)(PDF : 693KB)

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/attach/pdf/221226-5.pdf>

2022年農業技術10大ニュース(TOPIC 10)(PDF : 769KB)

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/attach/pdf/221226-6.pdf>

お問合せ先

農林水産技術会議事務局研究企画課　担当者：中島、井戸原

代表：03-3502-8111（内線5847）　ダイヤルイン：03-3502-7407

**■***NEW***和歌山県和歌山市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内21例目）に係る移動制限の解除について　2022/12/26**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/221226_1.html>

　　和歌山県は、同県和歌山市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内21例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和4年12月26日（月曜日）午前0時（12月25日（日曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）和歌山県は、令和4年11月30日に同県和歌山市の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内21例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）和歌山県は、令和4年12月15日に当該搬出制限を解除しました。

（3）今般、和歌山県は、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和4年12月4日の翌日から起算して21日が経過する令和4年12月26日（月曜日）午前0時（12月25日（日曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***福岡県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2022/12/26**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/221226.html>

　　本日（12月26日（月曜日））、福岡県糸島市の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内48例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定しました。

1.農場の概要

所在地：福岡県糸島市

飼養状況：約3.6万羽（肉用鶏）

2.経緯

（1）昨日（12月25日（日曜日））、福岡県は、同県糸島市の農場から、死亡羽数の増加がみられる旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（3）本日（12月26日（月曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■***NEW***青森県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内35例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2022/12/23**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/221223.html>

　青森県三沢市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内35例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）青森県三沢市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内35例目、12月15日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***国内産農産物における農薬の使用状況及び残留状況調査の結果について（令和2年度及び令和3年度）　2022/12/23**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/nouyaku/221223.html>

農林水産省は、農薬の適正使用を推進し、安全な農作物の生産に資すること等を目的として、農家における農薬の使用状況及び生産段階における農産物中の農薬の残留状況について調査を実施しています。この度、令和2年度及び令和3年度の国内産農産物における農薬の使用状況及び残留状況について取りまとめましたのでお知らせします。

1.調査結果

1.農薬の使用状況について

871戸（令和2年度393戸、令和3年度478戸）の農家に対し、記入簿への記入又は聴取りを行うことで農薬の使用状況を調査しました。

　その結果、調査した農家（871戸）のうち、2戸の農家で、使用量又は希釈倍数が適切でなかった事例が確認されました。残りの869戸においては、農薬が適正に使用されていたことが確認されました。

農薬の不適正な使用があった2戸の農家に対しては、地方農政局及び都道府県から、農薬の適正使用の徹底を図るよう指導を行いました。

表1：令和2年度及び令和3年度の農薬の使用状況に関する調査結果

ホワイトボード

中程度の精度で自動的に生成された説明

2.農薬の残留状況について

871検体（令和2年度393検体、令和3年度478検体）の農産物について、のべ4,436種類の農薬と作物の組合せの残留状況を調査しました。

その結果、令和2年度には食品衛生法（昭和22年法律第233号）に基づく残留基準値を超える農薬を含んだ検体はありませんでした。令和3年度には、農薬の不適正な使用があった農家における検体とは異なる1検体が、残留基準値を超える農薬を含んでおり、その他の検体は、残留基準値を超えていませんでした。

この1検体は、はくさいで、残留基準値（0.2 mg/kg）を超える農薬のアセフェート（0.3 mg/kg）が検出されました。当該はくさいを栽培した農家をさらに調査しましたが、基準値超過の明確な原因は特定できませんでした。

なお、当該農作物を通常想定される量摂取した際の農薬の摂取量は、健康に悪影響を示さないと推定される摂取量と比べ小さいことから、健康に影響を及ぼすおそれはありません。

表2：令和2年度及び令和3年度の農薬の残留状況に関する調査結果

テーブル

自動的に生成された説明

2.調査結果を受けた対応

1. 農薬の不適正な使用が認められた農家に対して、地方農政局及び都道府県から農薬の適正使用の徹底を図るよう指導を実施しました。

2. 農薬の適正使用を推進するため、令和4年度も同様の調査を実施しています。

<添付資料>

（別添）国内産農産物における農薬の使用状況及び残留状況調査の結果の概要（令和2年度及び令和3年度）(PDF : 197KB)

<https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_monitor/attach/pdf/r2_r3-5.pdf>

（別表1）使用状況調査の結果（令和2年度及び令和3年度）(PDF : 131KB)

<https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_monitor/attach/pdf/r2_r3-1.pdf>

（別表2）分析の対象とした農薬及びその定量限界（令和2年度及び令和3年度）(PDF : 230KB)

<https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_monitor/attach/pdf/r2_r3-4.pdf>

（別表3）定量限界以上の濃度が検出された検体に関する残留状況調査の結果（令和2年度及び令和3年度）(PDF : 218KB)

<https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_monitor/attach/pdf/r2_r3-2.pdf>

（別表4）農産物別の残留状況調査の結果（令和2年度及び令和3年度）(PDF : 206KB)

<https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_monitor/attach/pdf/r2_r3-3.pdf>

お問合せ先

消費・安全局農産安全管理課農薬対策室　担当者：濵砂、伊藤

代表：03-3502-8111（内線4500）ダイヤルイン：03-3501-3965

**５.****[消費者庁関連](#消費者庁関連)**<https://www.caa.go.jp/>

**「消費者庁」になりすましたTwitter、Facebookアカウントにご注意ください。**

**■***NEW***消費者契約法及び独立行政法人国民生活センター法の一部を改正する法律(令和4年法律第99号)等について　2023/1/4**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_system/consumer_contract_act/2022_contents_002/>

**■***NEW***不当景品類及び不当表示防止法施行規則の一部を改正する内閣府令(案)に関する意見募集について　2023/1/4**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/031674/>

　令和5年1月4日(水)から同年2月3日(金)まで(郵送の場合は同日必着)

**■***NEW***第9回 景品表示法検討会(2022年11月30日)　2022/12/28**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/representation/meeting_materials/review_meeting_004/030951.html>

**■***NEW***年末年始に増加する高齢者の事故に注意しましょう! - 浴室での溺水事故、餅による窒息事故、掃除中・除雪中の転倒・転落事故等に注意 –　2022/12/27**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_067/index.html>

挿絵 が含まれている画像

自動的に生成された説明

　　年末年始は寒さに加えて家族の帰省や会食、大掃除など普段と異なった行動をすることが多い時期です。そのような中、高齢者にとっては加齢に伴う身体機能や認知機能の低下、病気や薬の影響などの要因によって思いがけない事故が発生しています。

消費者庁では、年末年始など冬のこの時期に起こりやすい高齢者の事故を中心に、事故防止の観点からポイントをまとめました。

**浴室での溺水事故 ～冬季になるにつれ発生件数増加～**

**〔事故を防ぐためのポイント〕**

**◆入浴前の注意ポイント**

脱衣所や浴室を暖めましょう。(断熱性の向上と暖房設備の導入を検討も)こまめな水分補給をしましょう。

食後すぐの入浴や、飲酒後、医薬品服用後の入浴は避けましょう。

入浴する前に同居者に一声掛けて、意識してもらいましょう。

**◆入浴時の注意ポイント**

湯温は41度以下、湯につかる時間は10分までを目安にしましょう。

湯温や部屋間の温度差、入浴時間など普段意識しにくい部分について、温度計やタイマーを活用して見える化しましょう。

浴槽から急に立ち上がらないようにしましょう。

浴槽内で意識がもうろうとしたら、気を失う前に湯を抜きましょう。

**餅による窒息 ～死亡事故の4割が1月に、約2割が正月三が日に発生!～**

**〔事故を防ぐためのポイント〕**

餅は、小さく切り、食べやすい大きさにしてください。

飲み物や汁物などを飲み、喉を潤してから食べましょう。

(ただし、よく噛まないうちに飲み物や汁物などで流し込むのは危険です。)

一口の量は無理なく食べられる量にしましょう。

ゆっくりとよく噛んでから飲み込むようにしましょう。

高齢者が餅を食べる際は、周りの方も食事の様子に注意を払い、見守りましょう。

**掃除中・除雪中の転倒・転落事故等 ～冬季に救急搬送が増加～**

**〔事故を防ぐためのポイント〕**

滑りやすい場所で掃除をする際には転倒に注意し、足場が濡れている場合は事前に拭き取りましょう。

年齢や個々の体力を勘案し、無理な作業は控えて整理しましょう。

脚立やはしごを使用した高所作業は極力控え、行う場合は広いステップや上枠が付いた身体のバランスを取りやすい用具を使い、安定した場所で無理なく行いましょう。踏み台等を使っての作業も安定した場所で行いましょう。

除雪作業は無理せず二人以上で。用具の点検と安全対策を確実に行いましょう。

洗剤などの取扱説明、注意表示をよく確認し、正しく使用しましょう。

**消費者庁公表資料**

2022年12月27日年末年始に増加する高齢者の事故に注意しましょう!-浴室での溺水事故、餅による窒息事故、掃除中・除雪中の転倒・転落事故等に注意-[PDF: 363KB]

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_067/assets/consumer_safety_cms205_221227_01.pdf>

別添 高齢者の事故に関するデータとアドバイス等[PDF: 807KB]

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_067/assets/consumer_safety_cms205_221227_02.pdf>

参考資料1 「寒い家で我慢」は健康上のリスク!―窓から始める断熱リフォーム(東京大学大学院 前真之准教授)[PDF: 2.1MB]

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_067/assets/consumer_safety_cms205_221227_03.pdf>

参考資料2 省エネリフォーム等に関する国の支援策[PDF: 181KB]

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_067/assets/consumer_safety_cms205_221227_04.pdf>

チラシ「無理せず対策 高齢者の不慮の事故」[PDF: 937KB]

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_067/assets/consumer_safety_cms205_221227_05.pdf>

**■***NEW***第8回消費者法の現状を検証し将来の在り方を考える有識者懇談会(2022年12月27日)　2022/12/27**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_system/meeting_materials/review_meeting_004/031474.html>

**■***NEW***第7回消費者法の現状を検証し将来の在り方を考える有識者懇談会(2022年12月26日)　2022/12/26**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_system/meeting_materials/review_meeting_004/031473.html>

**■***NEW***カトラリー、ストロー、カップ等の販売事業者2社に対する景品表示法に基づく措置命令について　2022/12/23**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/031610/>

　　消費者庁は、令和4年12月19日及び同月21日、カトラリー、ストロー、カップ等の販売事業者2社に対し、2社が供給するカトラリー、ストロー、カップ等に係る表示について、それぞれ、景品表示法に違反する行為(同法第5条第1号(優良誤認)に該当)が認められたことから、同法第7条第1項の規定に基づき、措置命令を行いました。

公表資料

* [カトラリー、ストロー、カップ等の販売事業者2社に対する景品表示法に基づく措置命令について[PDF:420.9 KB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_01.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_01.pdf>

* [別紙1-1ないし別紙1-10[PDF:6.0 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_02.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_02.pdf>

* [別紙2-1ないし別紙2-3[PDF:2.4 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_03.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_03.pdf>

* [参考1及び参考2[PDF:207.2 KB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_04.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_04.pdf>

* [別添1及び別添2[PDF:331.6 KB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_05.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_05.pdf>

**■***NEW***釣り用品の販売事業者に対する景品表示法に基づく措置命令について　2022/12/23**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/031584/>

　消費者庁は、令和4年12月19日、釣り用品の販売事業者であるマルキユー株式会社に対し、同社が供給する釣り用の疑似餌31商品に係る表示について、それぞれ、景品表示法に違反する行為(同法第5条第1号(優良誤認)に該当)が認められたことから、同法第7条第1項の規定に基づき、措置命令を行いました。

公表資料

* [釣り用品の販売事業者に対する景品表示法に基づく措置命令について[PDF:437.0 KB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_06.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_06.pdf>

* [別紙1ないし別紙10[PDF:5.5 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_07.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_07.pdf>

* [別紙11ないし別紙18[PDF:4.6 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_08.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_08.pdf>

* [別紙19[PDF:6.5 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_09.pdf)

[https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation\_cms207\_221223\_09.pdf](%20https:/www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_09.pdf)

* [別紙20[PDF:1.3 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_10.pdf)

[https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation\_cms207\_221223\_10.pdf](%20https:/www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_10.pdf)

* [参考1及び参考2[PDF:215.5 KB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_11.pdf)

[https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation\_cms207\_221223\_11.pdf](%20https:/www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_11.pdf)

* [別添[PDF:389.4 KB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_12.pdf)

[https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation\_cms207\_221223\_12.pdf](%20https:/www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_12.pdf)

**■***NEW***ゴミ袋及びレジ袋の販売事業者2社に対する景品表示法に基づく措置命令について　2022/12/23**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/031612/>

　　消費者庁は、令和4年12月20日及び同月21日、ゴミ袋及びレジ袋の販売事業者2社(以下「2社」といいます。)に対し、2社が供給するゴミ袋及びレジ袋に係る表示について、それぞれ、景品表示法に違反する行為(同法第5条第1号(優良誤認)に該当)が認められたことから、同法第7条第1項の規定に基づき、措置命令を行いました。

公表資料

* [ゴミ袋及びレジ袋の販売事業者2社に対する景品表示法に基づく措置命令について[PDF:996.8 KB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_01.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_01.pdf>

* [別紙1-1及び別紙1-2[PDF:2.9 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_02.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_02.pdf>

* [別紙1-3及び別紙1-4[PDF:3.4 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_03.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_03.pdf>

* [別紙1-5及び別紙1-6[PDF:3.5 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_04.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_04.pdf>

* [別紙1-7及び別紙1-8[PDF:2.2 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_05.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_05.pdf>

* [別紙2-1ないし別紙2-3[PDF:3.1 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_06.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_06.pdf>

* [参考1及び参考2[PDF:147.4 KB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_07.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_07.pdf>

* [別添1[PDF:964.2 KB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_08.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_08.pdf>

* [別添2[PDF:264.9 KB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_09.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_09.pdf>

**消費者庁リコール情報サイト**<https://www.recall.caa.go.jp/>

**（回収中か否かに関わらず、だいたい一回の掲載で消去します）**

**★OWAN「ホットケーキ/小麦　プレーン」 - 返金／回収　アレルゲン「小麦」の表示欠落　2023/1/5**

**★ゆめデリカ「紅鮭昆布煮」 - 返金／回収　アレルゲン「小麦、鮭」の表示欠落　2023/1/5**

**★松里福祉会「あられ(塩、醤油)」 - 返金／回収　カビによる汚染の可能性があるため　2023/1/4**

**★赤門「白菜キムチ」 - 返金／回収　アレルゲン「乳成分、えび」の表示欠落　2023/1/4**

**★智太「PAPA SWEET-SARAP BANANA KETCHUP」 - 返金／回収　表示に記載されていない安息香酸、サッカリンナトリウム、着色料が検出されたため　2023/1/4**

**★アーデン「ツルヤ　グリーンカレー辛口、明治屋ストアー推奨品　グリーンカレー辛口」 - 返金／回収　アレルゲン「えび」の表示欠落　2023/1/4**

**★村田蒲鉾店「チーズ蒲、めんたいチーズ蒲鉾」 - 交換／回収　カビによる汚染　2023/1/4**

**★久留米市農業協同組合「キムチ漬け「みんなの気むち」」 - 返金／回収　金属たわしの破片が混入した可能性があるため　2023/1/4**

**★庄内たがわ農業協同組合「月山ぶどう果汁、山ぶどう原液」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（誤：2203.12.06、正：2023.12.06）　2023/1/4**

**★高砂食品「青森ネバリゴシ麺にんにく醤油焼うどん」 - 返金／回収　粉末ソースの甘味料（アスパルテーム）の原材料表示にL-フェニルアラニン化合物を含む旨の記載が欠落していることが判明　2022/12/28**

**★ほこた農業協同組合「ほうれんそう」 - 回収命令　残留農薬基準値超過（パクロブトラゾール検出値：0.94ppm、基準値：0.01ppm）　2022/12/28**

回収の理由：食品衛生法違反のおそれ

　残留農薬基準値超過

　　検出農薬　パクロブトラゾール

　　検出値 0.94ppm、基準値 0.01ppm

2022年12月27日現在、健康被害の報告はありません。

当該ほうれんそうは、体重60kgの人が1.28kg以上、毎日一生涯食べ続けた場合、健康被害の恐れが考えられます。このことから、通常の食生活において当該「ほうれんそう」を摂食したとしても、健康に影響を及ぼすことは考えられません。

　　ウィキペディア<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%91%E3%82%AF%E3%83%AD%E3%83%96%E3%83%88%E3%83%A9%E3%82%BE%E3%83%BC%E3%83%AB>

　パクロブトラゾール（paclobutrazol, PBZ, IUPAC名: (2RS, 3RS)-1-(4-chlorophenyl)-4,4-dimethyl-2-(1H-1,2,4-triazol-1-yl)pentan-3-ol）は植物成長調整剤トリアゾール系殺菌剤の一種。植物ホルモンジベレリンの生合成を阻害することで、節間伸長の抑制による茎を太くする、根の生長、早期着果および結実などを、トマトやコショウにおいて引き起こす。PBZは、植物の寒冷に対する感受性を低下させる。PBZは、茎葉部の生長阻害を目的として樹木医に用いられるが、その他の有用な効果を樹木に与える。例えば、乾燥ストレスへの耐性の改善、深緑色の葉、カビやバクテリアへの抵抗性、根の成長の促進などである。いくつかの木の種では、形成組織および茎葉部の成長の抑制が見られる。

PBZは、ジベレリンの生合成経路において、ent-kaureneからent-kaurenoic acidへの反応を触媒するシトクロムP450を阻害する。

**★ウチノ「肉じゃが」 - 交換／回収　殺菌不良により容器包装詰加圧加熱殺菌食品の規格基準に満たない可能性があるため　2022/12/28**

**★A-ONE「タルイカ短冊（生食用）」 - 返金／回収　大腸菌群陽性　2022/12/28**

**★小山製麩所「天着竹麩（小）チルド、ほか5商品」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（誤、解凍後90日、正：解凍後30日）　2022/12/28**

**★尚仁沢ビバレッジ「尚仁沢の天然水」 - 返金／回収　製造機器付属パーツ（ゴムパッキン：EPDM製）の一部が断裂して製品内に混入している可能性が発覚したため　2022/12/28**

**★ファミリーマート「大納言どら焼」 - 返金／回収　シリコンゴム片が混入している可能性があることが判明　2022/12/27**

**★神戸物産「グリーンハバネロホットソース」 - 返金／回収　一括表示に記載のない着色料（赤色40号）が検出されたため　2022/12/27**

**★神戸物産「グレープモラセス」 - 返金／回収　一括表示に記載のない保存料（安息香酸）が検出されたため　2022/12/27**

**★高砂食品「スパイス香る和風スープのカレーうどん」 - 返金／回収　カレー粉末スープの甘味料（アスパルテーム）の原材料表示にL-フェニルアラニン化合物を含む旨の記載が欠落していることが判明　2022/12/27**

**★マックスバリュ関東（木更津請西店）「紀文　あんまん、肉まん」 - 返金／回収　要冷蔵(10℃以下)の商品を非冷パン売り場で販売　2022/12/27**

**★岩手エッグデリカ「味付たまご、ほか」 - 返金／回収　指定外添加物（塩化ジデシルメチルアンモニウム）を使用　2022/12/26**

**Wikipedia**<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A1%A9%E5%8C%96%E3%82%B8%E3%83%87%E3%82%B7%E3%83%AB%E3%82%B8%E3%83%A1%E3%83%81%E3%83%AB%E3%82%A2%E3%83%B3%E3%83%A2%E3%83%8B%E3%82%A6%E3%83%A0>

塩化ジデシルジメチルアンモニウム（英: Didecyldimethylammonium chloride、略称: DDAC）は殺菌剤や消毒薬など多くの殺生物剤（英語版）に使われる化合物である。これは分子間相互作用を阻害し、脂質二重層の解離を引き起こす。

**★ハウステンボス「クリームチーズ、ターフルソース」 - 交換／返金　10℃以下の保存が明記されているクリームチーズを14℃で保管していたため　2022/12/26**

**★綿半パートナーズ（綿半スーパーセンター権堂店）「水産加工食品、水産物つけもの」 - 返金／回収　保存温度表示の欠落　2022/12/26**

**★東永商事「芝麻蛋捲（SESAME EGG ROLL）」 - 交換／回収　邦文表示の貼付漏れ、中国語表記のみであることが判明（アレルゲン「卵、小麦、ゴマ」の表示欠落）　2022/12/23**

**★オーシャンシステム（業務スーパー上越インター店）「ふっくらおいしい（鮭）、ほか3商品」 - 返金／回収　消費期限を超過した商品を販売　2022/12/23**

**★ベルジョイス（ビッグハウス一関店）「ミニロールキャベツ」 - 返金／回収　消費期限の誤表示（誤：賞味期限23.1.2、正：消費期限22.12.21）　2022/12/23**

**★ビットワークス「benbeya:マドレーヌ」 - 返金／回収　アレルゲン「アーモンド」の表示欠落　2022/12/23**

**★TONDERU「冷凍カエルの足」 - 回収命令　成分規格違反（エンロフロキサシン0.02ppm、フラゾリドン0.010ppm）　2022/12/22**

　対象の特定情報

商品名：冷凍カエルの足

形　態：合成樹脂製袋詰

内容量：500g

賞味期限：2024年11月5日

原産国名：ベトナム

輸入者　：TONDERU株式会社

　　　　　岡山市

流通状況：埼玉県、群馬県及び神奈川県の各1施設に計134箱（1,340kg）※販売

　　　　　※1箱：20袋入り

参照情報

備考

違反条項：食品衛生法第13条第2項違反（成分規格違反）

検査結果：エンロフロキサシン　0.02ppm（基準：含有してはならない）

　　　　　フラゾリドン　0.010ppm（基準：不検出）

現在のところ、健康被害に関する情報は寄せられていません。

【参考】

・エンロフロキサシンについて

　用途：動物用医薬品（合成抗菌剤）

　エンロフロキサシンの許容一日摂取量（ADI）※0.002mg/kg/体重/日

　今回の検出量は、体重60㎏の人間が毎日5.95㎏を一生食べ続けても、健康に影響が認められない量です。

　※許容一日摂取量とは毎日一生涯食べ続けても健康に悪影響を及ぼさないと推定される量のことです。

・フラゾリドンについて

　用途：動物用医薬品（合成抗菌剤）

　許容一日摂取量は（ADI）は設定されていません。

**★TONDERU「冷凍トゲウナギ」 - 回収命令　成分規格違反（エンロフロキサシン1.34ppm）　2022/12/22**

違反条項：食品衛生法第13条第2項違反（成分規格違反）

検査結果：エンロフロキサシン　1.34ppm（基準：含有してはならない）

現在のところ、健康被害に関する情報は寄せられていません。

【参考】

【トゲウナギについて】

　タウナギ目トゲウナギ科の魚類です。アジアやアフリカに生息し、産地では食用とされています。

【エンロフロキサシンについて】

　国内では牛、豚及び鶏における細菌性呼吸器感染症及び消化管感染症の治療に使用される動物用医薬品（合成抗菌剤）です。

　今回の対象品は、令和4年12月14日（水）に回収を命じた「冷凍カエルの足」と同日に輸入されたものです。

**★主婦の店鶴岡店「白す干し」 - 返金／回収　「ふぐ」と思われる物が混入　2022/12/22**

**★アライドコーポレーション「メープロイ グリーンカレーペースト、マッサマンカレーペースト、レッドカレーペースト」 - 返金／回収　アレルゲン「えび」の表示欠落　2022/12/22**

**★シエル クレール「チョコのマドレーヌ」 - 返金／回収　アレルゲン「卵、小麦、アーモンド」の表示欠落　2022/12/22**

**★ひまわり「愛しの落花生パイ」 - 返金／回収　カビによる汚染　2022/12/22**

**６.** **[食中毒・感染症](#食中毒・感染症)**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8068a715873c6ec58e1b8a24b767bfef42745261>

**■***NEW***インフルエンザ（総合ページ）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html>

**★細菌性食中毒★**

**■食中毒（疑い）が発生しました　2023/1/5　福岡県福津市**

**調査中**

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/syokuchudoku20230105.html>

　１　事件の探知

　令和５年１月３日（火）、福津市の住民から食中毒様症状を呈した旨、宗像・遠賀保健福祉環境事務所に連絡があった。

２　概要

　同事務所が調査したところ、令和４年１２月２８日（水）に古賀市の飲食店を利用したことが確認された６名のうち３名が腹痛、下痢等の症状を呈していることが判明した。

　現在、同事務所及び飲食店を管轄する粕屋保健福祉事務所において、食中毒及び感染症の両面から調査を進めている。

３　発生日時　調査中 判明分：令和４年１２月３０日（金）午後２時頃

４　摂食者数　調査中　判明分：６名

５　症状　調査中　判明分：腹痛、下痢等

６　有症者数　調査中　判明分：３名（２０代男性２名、２０代女性１名）

　医療機関は受診しておらず、 重篤な症状は呈した者はいない。

７　原因施設、原因食品、病因物質　調査中

８　検査　福岡県保健環境研究所で有症者及び従事者の便等を検査予定。

９　その他

〈参考〉県下における食中毒の発生状況（１月５日時点。調査中の事件を除く。）

テーブル

自動的に生成された説明

**■宜野湾の飲食店 食中毒で３日間の営業停止　12月28日　15時29分　沖縄 NEWS WEB**

**沖縄県宜野湾市**

**カンピロバクター**

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/okinawa/20221228/5090021402.html>

**■焼き鳥など食べた3人が腹痛・下痢、食中毒菌検出　大津の飲食店営業停止に**

**12/28(水) 21:09配信　京都新聞　滋賀県大津市**

**カンピロバクター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/3844f1cf698ad0249400ce3284ffb554bbd7d6c8>

**食中毒情報　2022/12/19****滋賀県大津市**

**カンピロバクター**

<https://www.city.otsu.lg.jp/kenko/kenko/sho_eisei/joho/1387787246762.html>

発生年月日：令和4年12月19日

摂食者数：(非公表）

患者数：3人

原因食品：不明（12月17日（土曜）に提供された食事）

病因物質：カンピロバクター・ジェジュニ

**食中毒事件の発生について（令和 4 年第 4 号） 　2022/12/28　滋賀県大津市**

**カンピロバクター**

**大津市内において食中毒事件が発生しましたのでお知らせします。**

<https://www.city.otsu.lg.jp/material/files/group/4/reiwan4nen4gou.pdf>

発生日時

令和 4 年 12 月 19 日（月）10 時 00 分（初発）～12 月 21 日（水）2 時 00 分（終発）

発生場所 大津市、滋賀県

発症者等 発症者数 ： 3 人

発生状況

（概要）令和 4 年 12 月 23 日 9 時頃に、滋賀県より「県内医療機関から「食中毒が疑われる患者を診察した。患者は 12 月 17 日(土)に、大津市内にある飲食店で食事をした後、腹痛、下痢等の食中毒様症状を呈している」旨の連絡があった。」との連絡が大津市保健所にありました。

大津市保健所が調査を行った結果、12 月 17 日に市内飲食店が提供した食事を食べた3 人が同様の症状を呈していることが判明しました。

患者の共通食は、当該施設が提供した食事以外にないこと、患者の発症状況が類似しており、患者 3 人の検便からカンピロバクターが検出されたこと、患者の症状がカンピロバクターによる食中毒の特徴と一致していること、患者を診察した医師から食中毒の届出があったことから、大津市保健所は当該施設が提供した食事を原因とする食中毒と断定しました。

　症 状

　軽 症 :3 人　中 等 症 :0 人　重 症 :0 人

　下痢、腹痛、発熱（37.3～37.5 度）、嘔気、倦怠感等

現在の病状 全員快方に向かっています。

　献立内容

ささみレア焼き（紀州南高梅）、近江黒鶏の昆布じめ、近江黒鶏肝わさ、焼き鳥（軟骨、モモ、肩ロース、純鶏）、焼きおにぎり茶漬け、フライドポテト、ウィンナー、唐揚げ、京都半兵衛生麩（田楽味噌）、中華そば、出し巻き玉子

　原因食品　令和 4 年 12 月 17 日に原因施設が提供した食事

　病因物質 カンピロバクター・ジェジュニ

　原因施設

施設所在地 ： 大津市

施設名称 ： 鶏こう 総本店

業 種 ： 飲食店営業

措 置

大津市保健所は、上記施設を令和 4 年 12 月 28 日（水）から 12 月 30 日（金）までの3 日間の営業停止処分としました。

検査材料 微生物検査 ：15 検体 〔糞便 ：5 検体、ふきとり : 10 検体〕

テーブル

自動的に生成された説明

**■食中毒の発生について　2022/12/23　神奈川県海老名市**

**カンピロバクター・ジェジュニ**

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/e8z/prs/r221213.html>

　記者発表資料（県政・厚木記者クラブ同時発表）

　　12月19日(月曜日)、海老名市内の飲食店を利用した人から「12月13日(火曜日)に海老名市内の飲食店で食事をしたところ、複数名が下痢、腹痛、発熱等の症状を呈している。」旨の連絡が厚木保健福祉事務所にありました。

　　当保健福祉事務所で調査を行ったところ、食中毒様症状を呈している人の共通の食事がこの飲食店が提供した食事だけであること、症状が共通していること、患者の便からカンピロバクターが検出されたこと、患者を診察した医師から食中毒の届出があったことから、本日、この飲食店が提供した食事を原因とする食中毒と決定しました。

1　摂食者数　19名（男性：7名、女性：12名）（調査中）

2　患者数　9名（男性：2名、女性：7名）（調査中）

3　入院者数　0名（調査中）

4　初発日時　12月16日(金曜日)　9時頃(調査中)

5　主な症状　下痢、腹痛、発熱など

6　原因施設

名　称　青雉(あおきじ)

業　種　飲食店営業

所在地　海老名市

7　原因食品　調査中

12月13日（火曜日）に提供された主なメニュー

コース料理（湯豆腐、蒸し鶏のサラダ、手羽先の唐揚げ、水炊き、鶏タタキ、串焼き（つくね串、レバー）、雑炊等）

8　病因物質　カンピロバクター・ジェジュニ

9　措置　原因施設に対して、12月23日(金曜日)から営業禁止

神奈川県の食中毒発生状況（本日発表の1件を含む）

テーブル

自動的に生成された説明

　（問合せ先）

神奈川県厚木保健福祉事務所　食品衛生課長　青山　電話　046-224-1111　内線3255

神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課　課長　土肥　電話　045-210-4930

食品衛生グループ　植村　電話　045-210-4940

**★ウイルスによる食中毒★**

**■今年初の集団食中毒　小浜の高齢者介護施設（福井県）　1/5(木) 18:30配信　FBC 福井放送****福井県小浜市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/6dfe82befb5b70ddcc98787c17b096d38d54690a>

　**食中毒が発生しました　2023/1/5　福井県小浜市**

**ノロウイルス**

<http://www2.pref.fukui.lg.jp/press/atfiles/pafe1672892122eD.pdf>

本日、若狭健康福祉センターは、小浜市内にある下記の施設を食中毒の原因施設と断定し、この施設に対し営業停止を命じました。

食中毒事件の概要については、以下のとおりです。

１ 探知

令和５年１月３日（火）午前１０時頃、当該施設から若狭健康福祉センターに、「施設で調理　提供した食事を喫食した者１０名が１月２日（月）から下痢、嘔吐等の症状を呈している。」との報告がありました。

２ 調査結果

以下のことから、若狭健康福祉センターは本件を当該施設が調理提供した食事を原因とする食中毒と断定しました。

○令和４年１２月３１日（土）から令和５年１月２日（月）に原因施設が調理提供した食事を　喫食した４３名中２０名が下痢、嘔吐等の症状を呈しており、その発症状況が類似していました。

○有症者間で感染症を疑う事象は確認されず、有症者の共通する行動は、原因施設が調理提供した食事の喫食のみでした。

○有症者および調理従事者の検便からノロウイルスが検出されました。

○医師から食中毒患者等届出票の提出がありました。

令和５年１月５日午前１１時 現在

患 者発 症 日 時 令和５年１月２日（月）午後２時頃（初発）

症 状 下痢、嘔吐等

患 者 数

男性 ５名（７０～９０歳代）

女性 １５名（６０～９０歳代）

症状は回復に向かっております

　　原 因 食 品

令和４年１２月３１日（土）から令和５年１月２日（月）に原因施設が調理提供した食事

原 因 物 質 ノロウイルス

原 因 施 設

　所 在 地 小浜市

屋 号 有限会社 おおきど

営業の種類 飲食店（仕出し弁当）営業

　　行政処分等

若狭健康福祉センターは、食品衛生法に基づき、飲食店（仕出し弁当）営業について本日から１月７日までの３日間、停止処分とし、調理工程等の確認、原因の究明、施設の清掃状況等の確認、従事者の衛生教育を実施する。

　検 査 状 況　県衛生環境研究センター

有症者便 ： ４検体

調理従事者便： ４検体

食品 ：２５検体（検査予定）

※うち有症者便４検体、調理従事者便２検体からノロウイルス検出３ 本県における食中毒発生状況（令和５年１月５日現在 今回の事件を含む）



**■食中毒の発生について　2022/12/30　神奈川県横浜市**

**ノロウイルス**

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenkoiryo/shoku/yokohamaWEB/syokuchudoku.files/0087_20221230.pdf>

　横浜市内の飲食店において提供された食事を原因とする食中毒が発生したため、横浜市保健所は令和４年 12 月 30 日（金）18 時 56 分に、飲食店の営業者に対し営業禁止処分を行いましたので、お知らせします。

現在、詳細については調査中ですが、発症者の食中毒症状はいずれも軽症であり快方に向かっています。

１ 経過

令和４年 12 月 20 日（火）、市内医療機関から横浜市保健所に「12 月 17 日（土）に神奈川区内の飲食店で会食した後、18 日（日）未明から、参加者複数名が下痢等の症状を呈している。」との連絡があり、直ちに調査を開始しました。

２ 原因施設

業 種 飲食店（レストラン）

営業所名称 ＲＩＯ　ＧＲＡＮＤＥ　ＧＲＩＬＬ横浜ベイクォーター

所在地 横浜市

３ 発症状況（令和４年 12 月 30 日（金）18 時現在）

テーブル

自動的に生成された説明

４ 調査状況

(1) 12 月 17 日（土）の利用者 141 組のうち 14 組 29 人が 12 月 18 日（日）３時から 12 月 19 日（月）20時までに、おう吐、下痢、腹痛の食中毒症状を呈していることを確認しました。

(2) 発症者の共通食は当該施設での 12 月 17 日（土）の食事のみであり、他に共通の感染経路はありませんでした。

(3) 発症者７人の便からノロウイルスが検出されました。

(4) 発症者の症状が、ノロウイルスの特徴と一致しました。

(5) 原因食品については現在調査中です。

５ 原因と措置

原 因 食 品 令和４年 12 月 17 日（土）に原因施設で提供された食事（調査中）

病 因 物 質 ノロウイルス

措 置 令和４年 12 月 30 日（金）に営業禁止処分を行いました。

【12 月 17 日（土）に提供したメニュー（ビュッフェ形態での提供）】

内容

シュラスコ※（牛肉、豚肉、鶏肉等）、揚げ物、煮込み料理、生野菜、デザート、ドリンク等※ブラジル風串焼き

６ 検査状況 （令和４年 12 月 30 日（金）18 時現在）（市衛生研究所で実施）

テーブル

自動的に生成された説明

横浜市内の食中毒発生状況（今回発表分を含みません。

テーブル

自動的に生成された説明

**■食品衛生法違反者等の公表について　2022/12/28　豊島区**

**ノロウイルス**

<https://www.city.toshima.lg.jp/217/kurashi/ese/shokuhin/1502191311.html>

　公表年月日　令和4年12月28日

施設名称及び所在地

トラットリア　クアルト池袋

東京都豊島区

業種等 飲食店営業

主な適用条項

食品衛生法（食品衛生法等の一部を改正する法律（平成30年法律第46号）第2条の規定による改正前の食品衛生法（昭和22年法律第233号）。以下「法」という。）第6条の規定に違反するので、法律第55条を適用する。

※食品衛生法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備及び経過措置に関する政令（令和元年政令第123号）附則第2条の規定により、なお従前の例により当該営業を行うことができるとされた者であるから、当該営業者に対する不利益処分については、この法を適用する。

不利益処分等を行った理由 食中毒の発生

不利益処分等の内容

営業等停止期間：令和4年12月28日から令和5年1月3日まで（7日間）

備考

原因食品：当該施設が提供した食事

病因物質：ノロウイルス

患者数：12名

**■飲食店営業施設等に対する不利益処分等　2022/12/28　世田谷区**

**ノロウイルス**

<https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/fukushi/003/005/d00144614.htm>

　公表年月日 令和4年12月28日

業種等 飲食店営業

主な適用条項 食品衛生法（昭和22年法律第233号）第6条第3号の違反により同法第55条を適用

不利益処分等を行った理由 食中毒

不利益処分等の内容 令和4年12月28日から令和5年1月3日まで営業停止

病因物質 ノロウイルスG2

備考 食品衛生法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備及び経過措置に関する政令（令和元年政令第123号）附則第2条の規定により、なお従前の例により当該営業を行うことができるとされた場合に該当するため、食品衛生法等の一部を改正する法律（平成30年法律第46号）第2条の規定による改正前の食品衛生法を適用する。

**l**<https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/fukushi/003/005/d00144614_d/fil/shobun.pdf>

スクリーンショットの画面

自動的に生成された説明

**■浜松の飲食店　９人が食中毒　2022.12.27　あなたの静岡新聞　静岡県浜松市**

**ノロウイルス**

<https://www.at-s.com/news/article/shizuoka/1170736.html>

　　浜松市は２６日、同市中区佐鳴台の飲食店「肉料理と大地の恵み　ひなた」で食事をした客９人が食中毒と診断されたと発表した。市保健所は同日から当分の間、同店を営業禁止とした。

　　保健所によると９人は４グループで、２６歳から７２歳の男女。２１、２３日のいずれかに来店し、牛タン角煮や牛ユッケ、サラダなどを食べたという。下痢や腹痛、嘔吐（おうと）などの症状を訴えたが、全員快方に向かっている。客６人と従業員１人の便、店内のトイレからノロウイルスが検出された。

**食中毒等の公表（第4号）　2022/12/26　静岡県浜松市**

**ノロウイルス**

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/seiei/food/safy/syoku_syokutyudoku/r4tyudoku_4.html>

　公表年月日　令和4年12月26日

営業所の名称　肉料理と大地の恵み　ひなた

営業所の所在地 浜松市

営業の種類　飲食店営業（食堂）

適用条項　食品衛生法第55条

行政処分を行った理由　食品衛生法第6条違反（食中毒）

行政処分の内容

令和4年12月26日（月曜日）から衛生状況の改善が確認されるまでの間営業禁止

備考　報道発表実施

**■川崎・高津区の老人ホームで食中毒　１６人が下痢や嘔吐**

**社会 | 神奈川新聞 | 2022年12月24日(土) 20:00　川崎市高津区**

**ノロウイルス**

<https://www.kanaloco.jp/news/social/article-958622.html>

**食中毒の発生について　2022/12/24　川崎市高津区**

**ノロウイルス**

<https://www.city.kawasaki.jp/templates/press/350/0000146626.html>

<https://www.city.kawasaki.jp/templates/press/cmsfiles/contents/0000146/146626/HP_20221224noro.pdf>

　川崎市高津区内の給食施設を原因施設とする食中毒が発生したのでお知らせします。

１ 探知及び概要

令和４年１２月２１日（水）、高津区の住宅型有料老人ホームから「施設利用者の複数名が胃腸炎症状を呈している。」との連絡が川崎市保健所にありました。

これまでの調査の結果、調理従事者と施設利用者の便からノロウイルスが検出されたこと、医師から食中毒の届出があったこと、患者の症状がノロウイルスによる食中毒と一致していること、患者の発症が一峰性であること並びに患者全員に共通する食事が当該施設で提供された食事のみであることが判明しました。これらのことから本件は、当該施設におけるノロウイルス食中毒対策が不十分であることが原因として、当該施設を原因施設とする食中毒事件と断定しました。本市では施設に対し再発防止を指導するとともに、引き続き調査を実施しています。

２ 患者数　１６人（患者は快方に向かっています。）

３ 発症日時（初発）　令和４年１２月２０日（火）正午頃

４ 症状　下痢、嘔吐等

５ 病因物質　ノロウイルス

６ 原因施設

業種 飲食店 給食施設

給食施設名称 ハートランド川崎

給食施設所在地 川崎市高津区

７ 原因食品　当該施設において調理・提供された食事

（参考：喫食メニュー）

１８日（朝）パン、ジャム、たまごサラダ、ヨーグルト、牛乳

１８日（昼）ごはん、回鍋肉、春雨ドレッシング和え、かきたまスープ

１８日（夜）ごはん、絹だし豆腐おろしかけ、菜の花の土佐和え、味噌汁

１９日（朝）パン、ジャム、かぼちゃサラダ、ヨーグルト、牛乳

１９日（昼）菜飯ごはん、カレーうどん、小松菜煮浸し、ゼリー

１９日（夜）ごはん、麻婆ナス、カリフラワー中華サラダ、味噌汁

８ 措置

（１）再発防止を指導

（２）営業停止処分２日間（令和４年１２月２４日（土）から１２月２５日（日））

（３）従事者に対して衛生教育を実施予定

川崎市内の食中毒発生状況（本件を含みます。）

テーブル

自動的に生成された説明

**★寄生虫による食中毒★**

**■令和５年食中毒発生状況　2023/1/3　新潟県**

**アニサキス**

<http://www.fureaikan.net/syokuinfo/01consumer/con02/con02_04/con02_04_03_35.html>

　発生年月日　2023/1/3

　摂食者数　不明

　患者数　1

　原因食品　不明

　食品種別　不明

　病因物質　寄生虫

　原因施設　不明

　備考　アニサキス

**★自然毒による食中毒★**

**■**

**★化学物質による食中毒★**

**■**

**★細菌による感染症★**

**■**

**★ウイルスによる感染症★**

**■**

**★その他の感染症★**

**■**

**★違反食品★**

**■違反食品等に対する行政処分等　2022/12/23　岩手県八幡平市**

**指定外添加物の使用違反**

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/anzenanshin/shoku/joho/1004489.html>

　公表年月日　2022/12/23

　違反食品等　味付けゆでたまご

　適用条項　食品衛生法第60条第1項

　違反内容　指定外添加物の使用違反

　違反食品販売者　株式会社岩手エッグデリカ

　違反食品販売者所在地　八幡平市

　行政処分等の内容及び措置状況　営業禁止命令

**★その他関連ニュース★**

**■【感染症情報】感染性胃腸炎が3週連続で増加 - 手足口病は14週連続で減少**

**12/27(火) 13:00配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/792b5315dd79b65c6dcae1dd11c92bf6bd2e605a>

■インフ**ルエンザ患者報告数が倍増、東京が最多 - 厚労省が発生状況公表、12－18日の1週間**

**12/23(金) 16:40配信****医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/82397b47ea1875fa2d3f2a4aff7d002ccf408e50>

**■新型コロナワクチン接種の70件を認定 - 厚労省が健康被害審査部会の審議結果公表**

**12/23(金) 15:35配信****医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8215e1d498383ec5dd7962f9c93da98396c44566>

**■多くの地域で高齢者のコロナ新規感染者数が増加 - アドバイザリーボードの感染状況評価**

**12/22(木) 12:55配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/29d955af88ca1d6269d3b890d37f27fed4153b64>